

ちば

21世紀に
伝えたい

の魅力

No. 13

のどかな自然が残る

小湊鉄道沿線



房総の山あいを行く小湊鉄道(市原市石神)



蛇行する養老川に沿って走るツートンカラーのディーゼルカー(市原市光風台)

県内鉄道最高地点はどこ？

市原市を縦断する小湊鉄道は、JR内房線に接続する五井駅から、蛇行する養老川



沿線は写生や撮影に格好のロケーションです。桜満開の上総大久保駅ホーム

に沿ってほぼ南下、房総丘陵へ分け入り上総中野駅(夷隅郡大多喜町)へ至る39.1kmを約70分で結んでいます。全線単線でディーゼルカーが1~2両で走る姿は、豊かな自然が残る上総地域の景色と相まってローカル線ならではの風情を添え、紅葉や新緑の季節には養老渓谷方面に向かう多くのハイカーでにぎわいます。全18駅のうち8駅で大正時代の駅舎が使われていて、開通当時の面影を残しています。特に、上総鶴舞駅は「関東の駅百選」に認定されています。

日)が運行、乗車数の多い駅は五井駅、上総牛久駅、光風台駅の順となっています。車窓に広がっていた田園風景は、県内最大の高滝湖を越え、里見駅を過ぎた辺りから山あいの景観に変わり、標高も上がってきます。月崎駅から養老渓谷駅までは沿線の大きな見どころです。

眺望に恵まれた大福山や紅葉で名高い養老渓谷を中心に、さまざまなハイキングコースが楽しめます。養老渓谷駅と上総中野駅の間にある板谷トンネル(大多喜町板谷)の標高は約126.6mで、県内



月崎駅からのハイキングコース。浦白川沿いの紅葉

鉄道の高地点です。トンネルを抜けると、外房の大原へ向かういすみ鉄道と接続する上総中野駅に到着します。

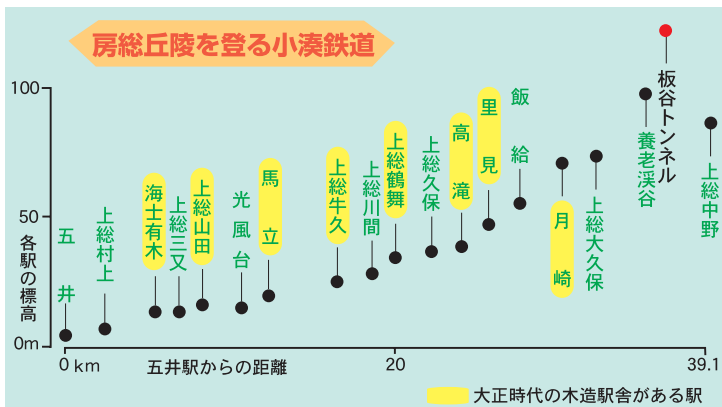


板谷トンネル

五井駅から上総牛久駅までの沿線はベッドタウン化が進み、列車本数は上下ともに28本(平



隣のホームのいすみ鉄道に接続する上総中野駅



上総鶴舞駅

<沿線巡りに便利なキップ>

- ★1日フリー乗車券 1,700円 (全線乗り降り自由、当日限り)
- ★養老渓谷往復割引乗車券 1,700円 (五井駅~養老渓谷駅、2日間有効)

小湊鉄道H.P <http://www1.odn.ne.jp/kominatotetsudou/>

蒸気機関車はどこから輸入した？



開業から使われた米国製蒸気機関車

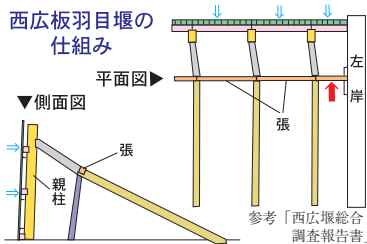
小湊鉄道本社敷地内には3台の蒸気機関車(県指定文化財)が保存されています。このうち2台は1924年(大正13)米国ボールドウィン社から開業に備えて購入されたもの。重量約38 t、全長9.8mで、1956年まで使われていました。同鉄道は1925年に五井～里見間が開通。1928年に上総中野駅まで延伸。当初は五井～小湊間の房総半島縦断を目指していましたが、1929年に房総線(現・JR内房線と外房線)の半島一周が完成、1934年には木原線(現・いすみ鉄道)が上総中野駅まで延伸されたことなどから、以後の工事は中止されました。小湊鉄道の由来は当初計画の終着駅の名残りです。

板羽目堰はどんな仕組み？

大正時代、養老川本流には農業用水のための優れた構造と機能をもった板羽目堰が6か所ありましたが、今では西広板羽目堰のみとなりました。この堰は厚い板を縦に並べて水をせき止めるもので、1000枚以上



堰の幅は約60m、親柱の高さは平均で約2.9m



の木材を使用。洪水のおそれがある時には両岸の末端の短い張(図の赤い矢印)を1本ずつはずし、一瞬で堰を解放できる点が大きな特徴です。木材は3本のワイヤーで結ばれているために流されず、再利用できます。1979年に鉄筋コンクリートの堰が完成してその役目を終えましたが、同年、市の有形民俗文化財に指定されました。

現在では数年に一度、秋に組み立てられ、堰の解放時には多くの見物客が訪れます。

現在では数年に一度、秋に組み立てられ、堰の解放時には多くの見物客が訪れます。

次郎長を取り立てた如水とは？

市原市鶴舞は浜松藩の国替えで誕生した鶴舞藩6万9千石の旧城下町です。家老を務めた伏谷如水は廃藩置県の後も鶴舞にとどまり地域の発展に尽くしました。ところで浜松藩時代の如水が、明治維新の動乱期に清水港周辺の警備に当たったのが清水次郎

長でした。次郎長が後に社会事業家として生きるきっかけとなったとされ、この史実を伝える碑が今年3月、鶴舞公民館に建立されました。



伏谷如水ト清水次郎長ノ碑

国府ってどんなところ？

飛鳥時代、大宝令が施行され全国は国、郡(評)、里(郷)の地方制度に編成され、国を治める国司が中央から派遣されました。国司がいる国庁のある所を国府(官庁)といいます。国府にはほかに国司館、税所、倉な



上総国分寺跡。高さ約60mもの七重塔があったとされます

どがあり政治、経済、文化の中心地でした。上総国の国府が市原にあったことはわかっていますが、具体的な場所については諸説あり、大きく分けて村上地区説と郡本地区説があります。

国府があったことを示すものとして、全国に置かれた国立寺院の遺跡が発見されています。全国の寺院のほとんどは国府から2km以内に置かれていて上総国分寺跡と上総国分尼寺跡も国府推定地から1~2kmのところにあり二寺ともに全国有数の規模だったことが発掘調査で明らかになっています。



▲上総国分尼寺跡展示館にある尼寺の復元模型

◀ 復元された尼寺の回廊

小湊鉄道沿線の自然探索スポット

鶴舞公園 & 鶴舞創造の森

どちらも県立笠森鶴舞自然公園に属し、鶴舞公園は桜の名所として知られ、1000本が咲き揃う頃には桜まつりが開かれます。近くの鶴舞



鶴舞創造の森、花木ゾーン入口

創造の森は花木、保全林、見本林の3つのゾーンに分けて整備され、遊歩道もあります。花木ゾーンの斜面にはコブシ、ヤマボウシ、エゴノキなどが植えられています。

交通 ■上総鶴舞駅から徒歩約20～30分

水上彫刻も楽しめる高滝湖

周囲約20km、県内最大の貯水面積の高滝湖周辺は釣りやハイキングに最適です。県の天然記念物に指定されている高滝神社の森はスタジイ、コナラ、スギなどからなり、樹高約30mの



朝もやがかかると高滝湖(川畑勇氏撮影)

スギの巨木がそびえます。春には産卵するアズマヒキガエルが見られます。

また市原市

水と彫刻の丘では触れて遊べる彫刻が楽しめます。交通 ■高滝駅から徒歩約10分(高滝神社)

117haの大自然・市原市民の森

起伏に富んだ10コースの遊歩道沿いに、主なものだけでも50種ほどの樹木が見られます。ウグイスやホオジロなどの野鳥も多く、リスやノウサギも生息しています。

利用時間 ■9:00～16:30(入園無料) 交通 ■月崎駅から徒歩約15分 ☎0436-96-1119



花菖蒲と紅葉の時期がおすすめです



TOPICS

市原

- イベントいっぱい「農林業まつり」
11月10、11日 市原市役所前広場
- 300年の伝統を誇る「五井大市」
12月8、9日 JR内房線五井駅西口、梨の木公園およびその周辺
- 夏はプール、1周150mのスケート場
12月1日～2002年2月28日 姉崎公園

★★冬場の釣り★★

- ・高滝湖⇒ワカサギ、ニジマス
- ・養老川河口⇒カレイ



180店以上が並ぶ五井大市

- 市原市観光協会 ☎0436-22-8355
- 市原市役所 H.P <http://www.city.ichihara.chiba.jp/>

※イベントは日程などが変更になる場合もあります。